

復興を誓って、前へ

がんばろう 七ヶ浜!!

宮城県七ヶ浜町

感謝

鎌倉の皆さま、ありがとうございます！

グループセブン

Groove7から、“こころ”を込めて！

はじめに、震災直後から、たくさんのご支援とともに、七里ガ浜の皆様をはじめ、全国各地からこれまで77,000人を超えるボランティアの方々が七ヶ浜町の復旧・復興の応援に駆けつけてくださいました。私たち七ヶ浜町民は、皆様からたくさんの勇気と希望をいただきました。

ありがとうございます！

現状

私たちにできること。3.11を風化させない。

今も仮設住宅に1,419名（町民の14人に1人）

大津波が七ヶ浜町を襲った平成23年3月11日。避難所の外は雪でした。大津波は最大12m。電気、水道、情報…何もかもが途絶え、寒さと飢えが私たちを襲い、生きる不安と大切な人を失った悲しみ…。

あの震えた夜のことは一生忘れることができません。私たちは、この体験を風化させてはならないと思います。

3.11から3年が過ぎる今でも、宮城県で、85,758名、七ヶ浜町では、1,419名の方々が仮設住宅（アパート等の、みなし仮設住宅含む。）での生活を余儀なくされています。

復興への歩みは、被災した方々の生活支援をはじめ、精神面のケア、被災した土地の復旧と新たな土地区画整理、高台集団移転のための住宅団地と災害公営住宅の整備等、その道のりは険しく、まだまだ遠いのです。

そのような中、おかげさまで、昨年春、七ヶ浜町でも高台移転のための住宅団地の造成工事が始まり、今年中には、一部、高台に住宅が建ち始めます。

ようやく復興への歩みが目に見え、形となり始めてきました。



造成が始まった代ヶ崎浜の高台移転住宅地

おかげさまで、一步一步着実に進んでいます。



← 現在、七ヶ浜中学校の生徒は、仮設校舎での学習を余儀なくされています。隣では、平成 27 年 4 月のスタートを目指し、工事が急ピッチで進められています。

→ 被災して場所を移し、この春、新築された町学校給食センター。これまで、近隣市町からの給食の支援や弁当でしたが、ようやく 4 月から小中学生に美味しい給食が届けられます。



明日へ

復興は、まだ始まったばかりです。 これからも応援をお願いいたします！

私たちは、震災の体験を通して、多くの教訓を学びました。そして、**大きな困難を乗り越えるために、人と人が手を取り合い、絆を強くすることが何よりも大切であると気づきました。**これまで、がんばることができましたのも、ひとえに、皆様からの応援があったからこそです。
今、私たちは、東北は、力強く、着実に。明日に向かって歩み出しています。
本当に、本当にありがとうございました！



私たちは、一日も早い復興を目指し、義援金(被災者へ)、一般寄付金(復興支援)も募集しております。詳しくは、七ヶ浜町役場財政課(022-357-2115)までお問い合わせください。

●発行:七ヶ浜国際村 022-357-5931